都市の可能性を開く。
三菱商事都市開発

2026 年 11 月 17 日

報道関係各位

三菱商事都市開発株式会社

三菱商事都市開発が参画するウルトラマルチバース実行委員会
学校法人 岩崎学園と産学連携プロジェクトを実施
学生が制作した PR 動画の一部をイベント公式 SNS で紹介



岩崎学園

三菱商事都市開発株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：森田憲司、以下「当社」）は、株式会社ローソンエンタテインメントおよび株式会社 STYLY と構成するウルトラマルチバース実行委員会の一員として、学校法人 岩崎学園（以下「岩崎学園」）と産学連携プロジェクトを実施しました。

本プロジェクトでは、岩崎学園が運営する「情報科学専門学校」および「横浜デジタルアーツ専門学校」で CG やデジタルコンテンツの制作を学ぶ学生が、横浜赤レンガ倉庫周辺で開催中の「緊急指令！ウルトラマルチバース 地球防衛大作戦 in 横浜赤レンガ倉庫」（以下「当イベント」）を実際に体験し、学生ならではの視点や感性を生かして、その特徴や魅力を伝える PR 動画を企画・制作しました。なお、優秀作品の一部をイベント公式 SNS で順次紹介しています。
また、2026 年 11 月 4 日(水)には、本プロジェクトに携わるクリエイターによる特別講義を実施し、AR を活用した体験設計の考え方や、企画、コンテンツ制作、プロモーションに関する実践的な知見を紹介しました。

実施背景
当社は当イベントにおいて、横浜のまちや施設を舞台に、AR 等のデジタルコンテンツを通じて新たな体験やつながりを生み出すことを、デベロッパーとしての重要な役割の一つと考えています。また、まちの魅力やエリア価値を高めていく上で、地域で学ぶ若い世代の視点や感性を取り入れることも重要であると考えています。
こうした考えのもと、横浜を拠点に専門人材を育成する岩崎学園と連携し、本プロジェクトを実施しました。学生に実践的な学びの機会を提供し、学生ならではの視点や感性をイベントの情報発信に生かすことで、リアルな都市空間とデジタルコンテンツを組み合わせた新たな体験価値を創出するとともに、地域の教育機関や若い世代との共創によるエリア価値の向上を目指したものです。

産学連携プロジェクトの概要
本プロジェクトには、「情報科学専門学校」および「横浜デジタルアーツ専門学校」で、CG やデジタルコンテンツの制作を学ぶ学生が参加しました。学生は当イベントを実際に体験し、体験する側とコンテンツを制作する側の双方の視点から、その特徴や魅力を分析しました。その上で、「誰に、何を、どのように届けるか」というプロモーションの視点を取り入れ、SNS での発信を想定した PR 動画を企画・制作しました。

本プロジェクトは、学生がこれまでに学んだ専門知識や技術を実際のイベントで活用し、社会に向けたコンテンツ制作に取り組む実践的な学習機会となりました。また、ウルトラマルチバース実行委員会は、学生が制作した作品を講評した上で優秀作品を選定し、その一部をイベント公式 SNS で順次紹介しています。

■ 本リリースに関するお問い合わせ先 ■
三菱商事都市開発株式会社　経営戦略部 広報担当　/ mail：pr@mcud.co.jp

特別講義を実施

2026 年 11 月 4 日(水)、本プロジェクトに携わるクリエイターのゴッドスコーピオン氏が講師を務め、学生に特別講義を実施しました。講義では、AR を活用した体験設計の考え方をはじめ、企画、コンテンツ制作、プロモーションについて実例を交えて紹介しました。質疑応答も行われ、学生がクリエイティブ制作の実務について理解を深める機会となりました。



講義の様子(講師：ゴッドスコーピオン氏)

講師を務めたゴッドスコーピオン氏のコメント

学生の皆様の制作作品は、キャラクターを引き立てる構図や編集、全体の構成やテンポにおいてそれぞれ工夫されており、体験の楽しさが存分に伝わる内容となっていたと思います。学年を経るごとに、作品全体のクオリティが着実に向上していることも感じ取れました。今回の講義や制作経験が「誰に、何を、どう届けるか」を考えるきっかけとなり、さらなる技術の向上や表現の探求へとつながることを心より願っています。

優秀作品（一部）のご紹介

本プロジェクトで選定された優秀作品の一部をイベント公式 X および Instagram で紹介しています。学生独自の発想で、イベントの体験や魅力を表現した作品をご覧いただけます。

・X：https://x.com/ultra_yokohama
・Instagram：https://www.instagram.com/ultra_yokohama?igsh=czcxcWRycjM4eGVt



横浜デジタルアーツ専門学校
映像制作学科　1 年
高宮 龍成 さんの作品



横浜デジタルアーツ専門学校
映像制作学科　2 年
鈴木 優也 さんの作品



横浜デジタルアーツ専門学校
映像制作学科　3 年
本原 心彩 さんの作品

学生のコメント

・AR 特有の迫力やリアリティを伝えることを目標に、ウルトラヒーローと怪獣が戦うシーンや飛び立つ場面等、カメラに動きのあるカットを多く採用して制作しました。どのような作品にすればコンテンツの魅力が伝わるかを常に意識して制作する中で、難しさとやりがいの両方を感じることができて楽しかったです。(高宮さん)
・家族層をターゲットとしたので、子どもだけでなく親世代も楽しく AR を体験できるイベントであることが伝わるよう意識しました。また、ナレーションもユーザーに寄り添い、一緒に楽しんでいるような親しみやすい表現ができるようこだわりました。実際に参加されている親子に撮影の許可をいただき、ご協力いただきながら映像を制作できたことは、貴重な経験になりました。企画から撮影、編集まで、実際の仕事に近い流れで制作に取り組めたことも良かったです。(鈴木さん)
・AR の面白さは、現実の風景の中にキャラクターが現れることにあると考えました。そこで、ピグモンが街を歩き、友達と一緒に遊んでいるような、楽しい雰囲気が伝わる動画となるよう意識して制作しました。子どもの頃からウルトラマンが大好きだったので、実際にキャラクターを使って動画を制作できたことがとても楽しく、貴重な経験になりました。(本原さん)

■ 本リリースに関するお問い合わせ先 ■
三菱商事都市開発株式会社　経営戦略部 広報担当　/ mail：pr@mcud.co.jp

岩崎学園のコメント

岩崎学園は、専門知識や技術を実社会で実践し、得た気づきを次の学びにつなげることを重視しています。本プロジェクトでは、学生が利用者の視点からイベントの魅力や課題を捉え、「誰に、何を、どう届けるか」を考えてコンテンツを制作。クリエイティブとマーケティングを結びつけ、実行委員会の講評をもとに企画・制作を振り返り、改善する力を養いました。

イベント概要

・イベント名：緊急指令！ウルトラマルチバース 地球防衛大作戦 in 横浜赤レンガ倉庫
・主催：ウルトラマルチバース実行委員会
・後援：横浜市
・協力：株式会社横浜赤レンガ、株式会社 INFORICH(CHARGESPOT™)
・開催期間：2026 年 6 月 5 日(金)～2026 年 11 月 30 日(月)
・開催場所：横浜赤レンガ倉庫 周辺エリア(受付場所：横浜赤レンガ倉庫 2 号館 1F Information 横)

学校法人 岩崎学園について

学校法人 岩崎学園は、横浜を中心に 7 つの専門学校を運営しています。IT、ゲーム、CG、映像、デザイン、ファッション、医療、看護、リハビリテーション、保育、スポーツ等、幅広い分野の専門人材を育成しています。また、専門学校教育に加え、情報セキュリティ大学院大学による大学院教育、岩崎博物館（ゲーテ座記念）をはじめとする文化振興、再就職支援訓練等の生涯教育、附属幼稚園・保育園・放課後児童クラブ等の子育て支援にも取り組んでいます。

学校法人 岩崎学園　神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町 2 丁目 17 番 相鉄岩崎学園ビル
理事長｜岩崎 文裕　https://www.iwasaki.ac.jp/

三菱商事都市開発株式会社について

三菱商事都市開発株式会社は「構想力と実現力で、都市の未来を育む。」を Purpose として掲げ、インダストリアル領域とリテール・エンターテインメント領域を中心に型にはまらない不動産・都市開発を行っています。インダストリアル領域ではドライ物流倉庫に加え、自動倉庫を含めた冷凍冷蔵倉庫やマルチテナント型製造・研究開発施設(innoba(イノーバ))、マルチテナント型ライフサイエンス研究開発施設(アイパーク神戸)の開発にも注力しています。また、リテール・エンターテインメント領域では都心型商業施設や NSC(近隣型ショッピングセンター)、ホテルの開発に加え、横浜赤レンガ倉庫等におけるイベント事業も手掛けています。更に、アリーナ等を核とした大規模都市開発にも取り組んでいます。

今後も国内外における幅広い産業・顧客接地面を持つ三菱商事グループの総合力を最大限に活かし、お客様やパートナーとともに都市の可能性を開いていきます。

三菱商事都市開発株式会社　東京都千代田区有楽町 1 丁目 5 番 2 号 東宝日比谷プロムナードビル 7 階
代表取締役社長｜森田 憲司　https://www.mcud.co.jp

■ 本リリースに関するお問い合わせ先 ■
三菱商事都市開発株式会社　経営戦略部 広報担当　/ mail：pr@mcud.co.jp